

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 湯前町社会福祉協議会

事業報告

Ⅰ 法人運営事業拠点区分

①役員会等の開催

1) 理事会 (全24議案3報告)

第1回	5月8日	3議案 (書面決議)	
第2回	6月8日	5議案	1報告
第3回	6月28日	2議案	
第4回	12月12日	8議案	1報告
第5回	3月12日	6議案	1報告

2) 評議員会 (全16議案)

第1回	6月28日	11議案	
第2回	12月21日	2議案	
第3回	3月21日	3議案	

全議案原案のとおり可決した。

3) 監査 5月30日

令和4年度事業報告並びに収支決算について

4) 評議員選任・解任委員会

第1回 5月18日 評議員1名の選任

5) 事業推進委員会

第1回	4月28日	日赤会費募集について
第2回	7月28日	社協会員会費徴収依頼について
第3回	9月28日	共同募金活動依頼について

②会員会費募集活動

	件数	金額
特別会員 (10,000円)	12件	120,000円
賛助会員 (1,000円)	288件	288,000円
一般会員 (300円)	1,065件	319,500円
その他	0件	0円
合計	1,365件	727,500円

前年比で、50件の減、金額は29,300円減であった。会費は地域福祉推進事業に活用させていただきます。

③寄附金報告

	件数	金額
一般寄附金	2件	64,302円
香典返し寄附金	63件	1,340,000円
合計	65件	1,404,302円

ご寄附に対し、深く感謝申し上げます。地域福祉推進事業に活用させていただきます。

④地域福祉推進事業

事業名	内 容
児童福祉事業	新一年生への黄色い帽子・安全タスキ寄贈事業 19セット 準要保護世帯児童修学旅費助成 小学生1名・中学生2名
老人福祉事業	生き生き健康教室（レク担当）27回実施 219名 支援家庭リサイクル品回収事業 4回実施64件 高齢者福祉事業 小学校運動会への高齢者招待 19名 ※誕生会 感染症拡大防止のため中止
母子福祉事業	鹿児島市立科学館を計画していたが参加者が0だった為、実施なし
地域福祉事業	事業推進委員会活動費助成 23名 地域福祉活動支援事業 13地区実施
心配ごと相談 所設置事業	心配ごと・行政・人権合同定例相談会 12回開催 相談件数 26件

コロナウィルスの影響を受け、内容変更して実施した。誕生会は感染症拡大防止のため中止した。地域福祉活動支援事業は13地区実施でやや少なかった。支援家庭リサイクル品回収事業は、民生委員協議会と合同で予定通り実施し、対象者から感謝の言葉をいただき、大変喜んでいただいた。

⑤共同募金配分金事業

事業名	内 容
老人福祉 活動事業	在宅寝たきり者等歳末見舞い 対象者27名に商品券を配付 短期生活介護自己負担額補助事業 利用者11名 いきいき交流事業 7回開催 参加数延べ 老人クラブ39名、民生委員27名 在宅介護者リフレッシュ事業10名
障害児・者 福祉活動事業	在宅寝たきり者等歳末見舞い 対象者1名 あゆみの会七夕まつり、クリスマスの集い参加協力参加者180名
児童福祉 活動事業	学童クラブとの合同事業（慈光・湯愛学童クラブ） 花いっぱい交流事業 通常開催 春・秋2回開催 小学生65名、老人クラブ64名 ふれあいの集い 独居高齢者を招待し、軽スポーツ大会を行う 小学生28名、高齢者11名 卒業記念品作成事業 卒業記念品としてマグカップ作成 小学生37名、陶芸部会5名 チャイルドシート購入助成事業 4件
福祉育成・ 援助活動事業	事業推進委員会活動費助成 23名 小学校・中学校ボランティア協力校支援事業 ちょこっとボランティア「ささえあい」事業費助成 傾聴ボランティア育成事業

「いきいき交流事業」は7回実施、小学校の「花いっぱい交流事業」はお食事会無しで2回実施、卒業記念品作成事業は通常通り開催した。あゆみの会は7月に七夕祭りを開催され80名の参加、12月のクリスマス会は100名の参加があった。在宅介護者リフレッシュ事業は介護者の方々と情報交換会を行った。

⑥地域福祉団体への助成及び事務支援

- 1) 団体助成（2団体）
老人クラブ連合会、身体障がい者福祉協議会
- 2) 事業助成
慰霊祭（湯前町遺族会） 5月22日実施（遺族会役員のみの参加）
- 3) 事務支援及び連絡調整等（各団体の事務局を担当し、自主活動を支援）
民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、身体障がい者福祉協議会
ボランティア連絡会、ちょこっとボランティアささえあい

⑦その他の地域福祉推進事業

- 1) ボランティア活動の促進と福祉教育の推進
災害ワークキャンプ小学校 4名
災害ワークキャンプ中学校 3名
- 2) 低所得者対策事業
福祉金庫貸付事業 貸付者数 1件 貸付金額 50,000円
資産総額 585,228円（通帳残545,228円+貸付金未償還額40,000円（1件））
（運用状況）

収入		支出	
前年度繰越金	545,224円	貸付金	50,000円
償還金	50,000円		
利息	4円		
合計	595,228円	合計	50,000円
		当年度繰越金	545,228円

（貸付状況）

支出		収入	
前年度未償還額	40,000円	償還額	50,000円
貸付額	50,000円		
合計	90,000円	合計	50,000円
		未償還額	40,000円

長期滞納者が1名おられるが、督促状の送付等償還に向けた活動は継続して行っている。

- 3) 健康福祉まつり（ゆのまえ漫画フェスタ）
中学生ボランティア6名、南稜高校生3名による共同募金広報活動を実施。

4) 赤い羽根共同募金活動

募金名	件数	金額
戸別募金	1,243件	625,250円
大口・法人募金	47件	246,000円
職域募金	7件	175,000円
学校募金	1件	7,161円
街頭募金	1件	45,675円
その他の募金	14件	58,360円
合計	1,313件	1,157,446円

前年比9件増で金額は25,021円増額となった。街頭募金や職域募金等で増額したが法人募金、その他の募金などが減額となった。令和6年度に977,446円が共同募金配分金として湯前町に配分されます。

多くの方の善意をいただくことができました。大変お世話になりました。

5) 日赤会費募集 (令和5年度実績)

会費総数 1,257件 632,500円
令和6年能登半島地震災害義援金 23件 532,103円

会費募集活動の際は、事業推進委員、地域婦人会の皆様にご協力いただきました。町民の皆様の大きな支援に感謝申し上げます。

6) 情報の整備と提供

ホームページ (社会福祉協議会・保育園) 運営
閲覧者 社会福祉協議会 年間ユーザー 1,241名 述べ閲覧者 6,491件
保育園 年間ユーザー 3,742名 述べ閲覧者 38,301件

7) 地域福祉権利擁護事業

利用者実人員 13名 (新規契約者 3名)
支援件数 106件

認知症など判断能力に不安がある方を対象に、日常的な金銭管理等の支援を行う。

8) 生活困窮者等自立相談業務支援事業

相談者実人員 6名 (生計2件、家計管理3件、福祉資金1件)
プラン作成件数 0件

生活困窮者に対し、第2のセーフティネットとして就労支援や家計相談等の支援を行うことにより、自立の促進を図ることを目的としています。

9) 災害ボランティアセンター設置訓練 (郡市社協合同事業)

例年9月に実施しているが、令和2年の豪雨災害の影響とコロナ禍ということもあり今年度も中止となった。

2 介護保険事業拠点区分

①会議及び研修

居宅介護支援
居宅介護支援事業所連絡会、上球磨地域事業所連絡会代表者会、上球磨地域事業所連絡会、球磨圏域介護支援専門員協会総会、研修(あきらめないで口から食べること)、人吉球磨地域における新型コロナウイルス感染症の5類感染症への意向に伴う体制変更に関する説明会、上球磨地域ケア会議、湯前町民生児童委員協議会定例会、研修(爪のケアについて)、第9期福祉計画策定に伴うヒアリング、研修(介護支援専門員のための医療とのつきあい方)、球磨地域社会福祉施設感染予防対策研修会、主任介護支援専門員更新研修、認知症サポーター養成講座(小・中学校)、ケアマネジメント研修会、ケアプラン点検、指定介護サービス事業者実施指導、ケアプラン点検支援体制構築事業に係るケアプラン点検研修、健康づくり推進協議会(歯科専門部会)、日本介護支援専門員協会九州・沖縄ブロック大会、研修(「明日香に生きる」地域の医療・介護から視えてくるもの)、「適切なケアマネジメント手法」の手引きその2解説セミナー、介護報酬改正説明会、ほんわり会、指定障害福祉サービス事業所等集団指導、球磨圏域介護支援専門員協会役員会、上球磨地域包括支援センター運営協議会、湯前町介護保険運営委員会
訪問介護
上球磨地域事業所連絡会、介護サービス事業者等集団指導、指定障害福祉サービス事業者等集団指導、新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う説明会、上球磨地域ケア会議、ホームヘルプの質を高めるWEBサロン
通所介護
上球磨地域事業所連絡会(災害対応訓練含む)、上球磨地域ケア会議、介護サービス事業者等集団指導、elgana事前説明会、九社連 通所部会Webセミナー、アンガーマネジメント研修

②介護保険、介護予防・日常生活支援総合事業等実績報告

1) 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）

		令和5年度	月平均
居宅介護支援事業	(要介護1~2)	939件	78.3件
	(要介護3~5)	370件	30.8件
	サービス件数計	1,309件	109.1件
	居宅介護料収入	19,529,550円	1,627,463円

前年度と比較し、162件増、居宅介護費収入は2,422千円増となった。

特定事業所加算Ⅲを算定し、質の高いケアマネジメントを提供する事業所として、介護支援専門員3名体制で、日々業務を行っている。月平均109名の利用者を担当しており、担当介護支援専門員が不在でも他の介護支援専門員で対応できる体制を整えている。また、上球磨包括支援センターより、介護予防計画書作成について、業務委託を受けており、介護予防のマネジメント業務も行っている。

社会福祉協議会の特性を活かし、権利擁護事業担当者や民生委員、区長、シルバーボランティアの方々等との連携や情報共有をしており、また行政、病院、上球磨包括支援センター等、関係機関とも連携し、経済的な問題や家庭内の問題等、多様な課題を抱えておられる方々にも対応できるようにしている。

高齢化率が高い湯前町ではあるが、独居の方、認知症や精神疾患を有する方、医療処置を要する等、様々な状態にある要介護高齢者とその家族の方一人一人が、住み慣れた地域で自分らしく生き生きとした生活を送ることができるよう、専門性を活かし、多職種と連携しながら支援していきたいと思う。

2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

		令和5年度	月平均
訪問介護	身体介護	1,030件	85.8件
	身体介護・生活援助	209件	17.4件
	生活援助	1,883件	156.9件
	サービス件数計	3,122件	260.2件
	介護報酬収入	8,939,850円	744,988円
総合事業（介護予防）	サービス件数計	574件	47.8件
	介護予防報酬収入	1,922,630円	160,219円

介護保険利用者34名。うち新規契約者・利用再開9名、解約者15名（入院・入所者13名、中止2名）新規契約者が増加しても、入院や施設へ入所される方が多かった。前年度に比べ、掃除や買い物などを行う生活援助の回数は減少したが、オムツ交換や自宅入浴などの単価が高い身体介護の回数が若干増え、介護報酬収入はやや増加した。

総合事業利用者12名。うち新規契約者2名、入院2名、介護保険へ移行2名。前年度に比べ利用者数が減り、介護予防報酬収入はやや減少した。

利用者様のニーズに合わせたサービスを行い、1日でも長く住み慣れた自宅で安心して生活していただける様、地域の方や行政、他事業所、居宅介護、通所介護と情報交換・連携を行いながら支援していきたい。

また5類に移行したあとにおいても、訪問時の検温・マスク着用・消毒など感染対策を継続している。

3) 通所介護事業（デイサービス）

		令和5年度	月平均
通所介護	通所介護（要介護1）	2,140件	178.3件
	（要介護2）	2,214件	184.5件
	（要介護3）	2,009件	167.4件
	（要介護4）	287件	23.9件
	（要介護5）	0件	0件
	サービス件数計	6,650件	554.2件
	介護報酬収入	60,429,260円	5,035,771円
総合事業（介護予防）	サービス件数計	810件	67.5件
	介護予防報酬収入	3,944,110円	328,676円
食費	サービス件数	7,457件	621.4件
	食費収入	4,101,350円	341,779円
教育費	サービス件数	780件	65.0件
	その他の利用料収入	78,000円	6,500円

年間行事	
ア) 季節行事	桜花見(市房ダム周辺)、つつじ見物、大運動会、避難訓練
イ) 特別食	敬老週間、紅葉狩り、クリスマス会、絵馬作り、初詣、節分
ウ) レク大会	花見弁当、敬老・正月祝い膳 体を使ったゲーム、テーブルゲーム、100歳体操いきいき体操

年度初めは要介護者52名、総合事業(要支援者含む)10名の計62名で開始した。新規契約者28名、契約解除者26名(施設入所、死亡)。利用回数増を希望される利用者も多かった。要介護4・5の利用者が減っているが、認知症の利用者が増加傾向で見守りの頻度は増加している。1日平均利用者25名を目標に取り組み、24.46人/日で目標には及ばなかった。介護報酬金額は前年比1,355千円減となった。

今年度もコロナ感染症が職員・利用者に発症し、クラスターには至らなかったが5日間の休館措置とした。消毒方法・換気・密にならない座席配置・催し物の開催の仕方等を改めて検討し、感染クラスター発生とにならないよう努めている。

また、コロナ対策として様々なイベント、ボランティアの受け入れを縮小、中止を継続している。おやつ作り、ボランティア等の受け入れ、1番の楽しみにされている保育園・こども園との交流、心のふれあいレクリエーションなどが依然として中止。敬老会も行事食と職員の催し物のみで縮小して実施した。今後はイベント、ボランティアの受け入れを再開できるよう現在検討中である。引き続き、日頃のゲームやレクリエーション、100歳体操、ユーチューブを活用した脳トレ、口腔体操等をますます充実させ、利用者が安心して楽しめる施設を目指していきたい。

利用者にはマスク着用、食事中は黙食、消毒の徹底など不自由さは当分続くが、その中でも楽しくできる事、利用者が望まれる事に耳を傾け、コロナ対策を行いながら、行政、居宅支援事業所、他事業所、包括支援センターとの連携を行い、安心安全で「また来たい」と思っていただけの魅力的な介護サービスを目指している。

③障害者福祉サービス事業実績報告

1) 指定障害福祉サービス事業

		令和5年度	月平均
指定障害福祉サービス	身体介護	980件	81.7件
	家事援助	731件	60.9件
	サービス件数	1,711件	142.6件
	介護給付費収入	7,556,470円	629,706円

利用者4名。うち新規契約者1名。利用中止1名（入所）。身体介護は、1日2～3回訪問し日常生活に欠かす事ができない食事やトイレ介助を支援。家事援助においては、精神的に不安定な方や日常生活に不安がある方へ、不安軽減目的や生活スキルを身につけるため掃除や片付けなど助言を行いながら支援している。前年度に比べ家事援助の利用者数が増加し、やや収入増になった。今後も利用者様の希望に添う支援を心がけて行きたい。

④委託事業実績報告

1) 地域支援事業

事業名	内 容
介護予防日常生活総合支援事業	通所サービス（A型）75回 通所サービス（C型）47回
一般介護予防事業	地域づくりによる介護予防推進支援事業（いきいき運動クラブ） 25クラブ（21分館+4クラブ）（42回）
その他	訪問調査 2回 JA移動販売所訪問 7回 認知症サポーター養成講座（中学2年生・小学5生） ほんわり会 介護教室 3回 介護用ベッド搬入等 5件
会議	総合事業に係るサービス調整会議、上球磨地域ケア会議 ちよこっとボランティア「ささえあい」、湯前町高齢者福祉計画策定等検討委員会、湯前町介護保険運営協議会
研修	地域でできる脳内活性化法、生活支援コーディネーター養成研修会（基礎・実践編）、コーディネーター連絡会議、人吉球磨ブロックコーディネーター意見交換会、シナプソロジーインストラクター養成研修、キャラバンメイトスキルアップ研修会、R2.7月豪雨被災地を対象とした包括的な支援体制の構築に向けた市町村研修会

一般介護予防事業「地域づくりによる介護予防事業推進支援事業」として、25クラブが活動中（うち21分館が公民分館を活用）。週1回分館へ通い「いきいき100歳体操」を取り組む中で、出前講座を取り入れ様々な活動に取り組んでいる。

B&G海洋センターを活用した通所型サービスA（通所A）では、毎週火・水曜日（10月より利用者減により水曜日のみ実施中）の午前中に自宅で出来る運動や体操、レクリエーション等を実施。自宅では、「自宅脳トレ」問題、「自宅で出来る運動」に取り組んでいただいている。

通所型サービスC（通所C）は、1期4カ月で水曜日の午後実施。専門職を活かしたサービスで、毎週各専門職（理学療法士・作業療法士・健康運動指導士・歯科衛生士）が交代で生活機能の改善を行っている。要介護状態を防ぐ為に短期間に集中したリハビリ（介護予防）を目的として行っている。

令和2年4月より活動しているゆのまえちよこっとボランティア「ささえあい」では、高齢者、障がいがある方や子育て世帯などを対象とし、日々の暮らしの中で起こる“ちょっとした困りごと”のある方（利用会員：51名）に、そのお手伝いができる方（協力会員：28名）が有償ボランティアとして活動し、日々の暮らしをサポートする会員制の仕組みです。利用者もサービスの種類も年々増え、感謝のお言葉をいただいている。今後も地域での支援の繋がりができたらと思う。

また、支え合いマップ作り説明会を2地区にて実施。高齢者や障害者など援護を必要とする人々が安心して暮らせる地域づくりのため、地域の支え合いの体制強化を図り、見守り活動や生活支援ボランティアの育成及びニーズの把握を行う。「後期高齢社会になっていく中、今からは、

子どもから高齢者までみんなで見守りをし、その事から地域づくりをしていく必要あると思う。」と参加者からご意見をいただいた。今後も引き続きマップづくりを行い、地域づくりを目指したいと思う。

生活支援体制整備事業として、住民主体の通いの場を増やし、介護予防活動に取り組みたい。生活支援サービスとして、地域の支え手が参加して定期的な情報共有と連携強化の場を中核となるネットワークづくりの中で、地域の困りごとやニーズの解決策、対応策などを話し合い、既存のサービスの新たな活用方法や困りごと、要望に応じた仕組みを考え、湯前町版「地域包括ケアシステム」を構築していきたいと思う。

2) 養育支援訪問事業

		令和5年度	月平均
養育支援訪問事業	家事支援	35件	2.9件
	委託料収入	100,975円	8,414.6円

役場の委託事業。生活環境や精神的に不安がある養育状態の方の家庭に支援を実施している。1世帯のみの利用。入院された期間もありましたが、前年度比べ、訪問回数・収入は、ほぼ変わりなかった。疲労軽減目的により調理・買物支援を行い、傾聴を行う事で安心感が得られている。今後も利用者様に寄り添い信頼関係が築けるよう支援していきたいと思う。

3 生活支援ハウス拠点区分

①受託事業実績報告

1) 高齢者生活福祉センター受託事業

利用者数 実人数 9名

新規契約者 1名、契約解除者 2名

サロン活動等 4回開催(内容:5月、11月避難訓練、買い物同行、茶話会)

買い物代行サービス 延べ13回

隣保間とのトラブル、怪我等もなく健やかに過ぎていただけたと思う。

4 放課後児童健全育成事業拠点区分

① 学童クラブ運営事業実績報告

		令和5年度	月平均	
学童クラブ事業	利用人数	11,608人	967.3人	
	開設日	293日	24.4日	
	学年別 登録児童数	1年生	141人	11.8人
		2年生	224人	18.7人
		3年生	134人	11.2人
		4年生	192人	16.0人
		5年生	60人	5.0人
		6年生	19人	1.6人
登録児童総数	770人	64.2人		

会議及び研修	
<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童支援員認定資格研修・放課後子ども総合プラン推進事業研修会 ・熊本県学童保育研修会・防災・災害時子ども支援活動ワークショップ 	
年間行事	
ア) 季節行事	夏祭り、クリスマス会
イ) その他	火災避難訓練、地震避難訓練、防犯訓練

70名の登録でスタートし、年度途中入所2名、途中退所16人でした。新型コロナウイルス感染症による制限もなくなり本来の活動をおこなうことができましたが、後半はインフルエンザが流行し学校と連携をとりながら感染予防に努めました。

また、児童支援員の資格取得や研修会への参加など、保護者が安心して預けられるよう支援員の質の向上をおこないました。

5 保育所運営事業拠点区分

① 湯前保育園事業実績報告

		令和5年度	月平均	
湯前保育園事業	保育日数	293日	24.4日	
	登録園児数	0歳児	120人	10.0人
		1歳児	210人	17.5人
		2歳児	99人	8.3人
		3歳児	108人	9.0人
		4歳児	84人	7.0人
		5歳児	108人	9.0人
		合計	729人	60.8人

会議及び研修	
キャリアアップ研修（マネジメント、乳児保育、幼児教育、障害児保育、保健衛生・安全対策）、新任保育士研修、園長等研修、緊急対応事業学習会、熊本県保育研究大会、園内研修（6回実施）	
年間行事	
ア) 季節行事	水泳、運動会、遠足、発表会、クリスマス会、餅つき、マラソン大会、節分、お店屋さんごっこ、ひな祭り、卒園式
イ) 交流事業	祖父母交流、野菜づくり、慈光こども園年長児交流
ウ) 学習会	親子体験学習、親の学び
エ) その他	運動遊び、サッカー教室、和太鼓教室、避難訓練、保育参観 里宮祭り、漫画フェスタ、出初式

4月に4名が入園し、57名でスタート。年度途中の入園児は12名、退園児は2名でした。

病児保育（体調不良児型）は、延べ128件の対応をおこないました。

一時預かり事業は、2名が64日利用され107,400円の収益となりました。

子育てサークルは21回実施し、参加者は延べ84人でした。

施設整備においては、老朽化した遊具（ジャングルジム、滑り台）の買い替え、劣化した止水バルブ等の交換をおこない、災害に備え全クラスの窓に飛散防止フィルムを貼りました。

将来における備えとして施設整備費一千万円を積立てました。

6 収益事業（祭壇貸付事業拠点区分）

① 祭壇貸付事業実績報告

1) 祭壇貸付事業 0件